



仲間への“思いやりのこころ”

グッドフェロー賞

「Good fellow」＝「良い仲間」(直訳)＝スポーツマンシップ



受賞

H.T さん

～元Jr.チーム生(現在、大学3年生)～



▲H.Tさん(平日5/20:Jr.チーム・Jr.S 合同レッスンにて撮影)

写真中央のH.Tさんは、小学生から高校へ上がるまでの間、「Jr.選手育成コース」(通称:Jr.チーム)にて練習していました。
現在は、大学3年生。

体育会硬式庭球部に所属していて、東海学生テニスランキング《シングルス第3位》、《ダブルス第3位》のトップ選手です。

大学の活動が、コロナによりオンライン授業と部活休部のため、現在浜松へ帰省していて

帰省後2週間明けた、5/19(火)より「Jr.チーム」にて練習することになりました。

Jr.チームにいる中学生のトップ選手でも、大学生トップ選手には、なかなか歯が立ちません。

そんな中、Tさんは、平日17時から「Jr.チーム」や「Jr.スクールSクラス」の小学生と一緒に練習しています。

楽しく、優しく、周りの小学生たちに声をかけながら、元気よく練習しています。

19:30以降、中高生の子たちとの練習でも、その態度は変わりません。

そして、「常に前向き」「ひたむき」「集中」「全力」で練習しています。

また、ボール拾いの時は、自分のコート早く拾い終え、まだ落ちているコートへ行き手伝います。

このような「テニスに対する姿勢」と、年齢・性別・テニスレベルを超えて「練習仲間を大切に作る姿勢」が

周りの小・中・高校生たちの模範となっています。



小学6年生の頃のH.Tさん
(チーム練習中)

保護者のみなさまへ

「上手な子と練習すれば、自分も上手になれる」という考え方が一般的ですが、Tさんの意識はもう少し違ったところにあるようです。彼は、「その練習により、自分のどの能力を開発できるのか」を自分自身が知ったうえで「高い意識で練習に取り組む」ことが大切であると、私たちに教えてくれています。周りの大人がお膳立てした「環境」の中で子ども達を育てるよりも、どんな環境であってもその中で「質の高い練習」をしようとするその「意志」こそに価値があり、その価値観を育てていくことも私の役割だと思います。

Jr.チーム担当:後藤